

次世代の水産業・農業を担うプロフェッショナルの育成

提出資料
⑤

現状と
課題

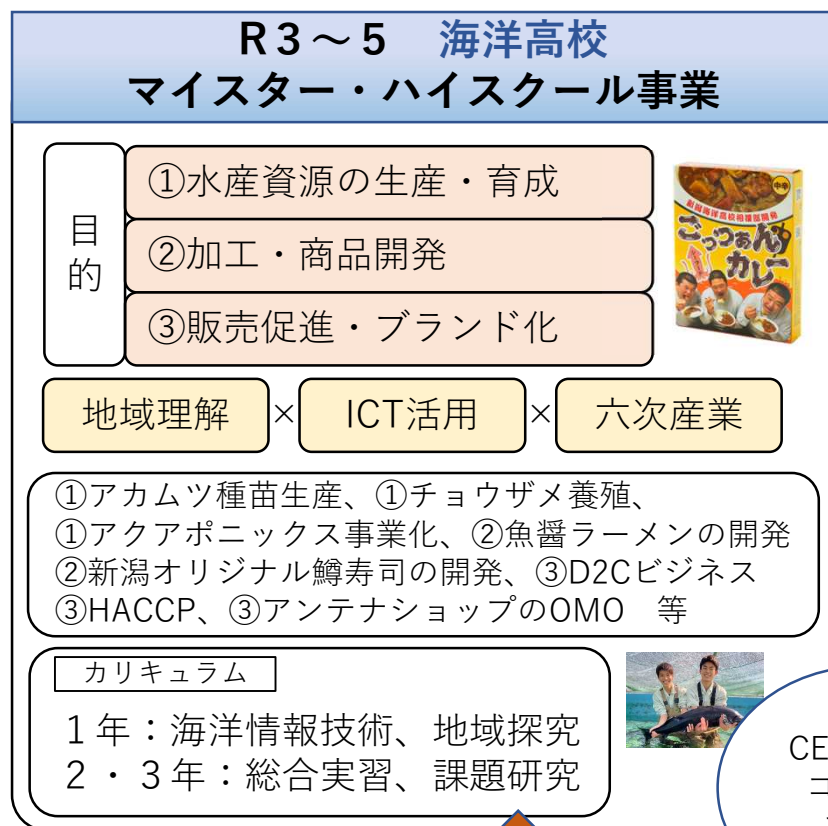
- ・産業構造の変化に即応した産業人材育成が急務
- ・海洋高校においては産業界と連携した課題解決型の教育プログラムを展開
- ・海洋高校の産業界と連携した取組の成果を、県内の他の専門高校に普及できていない

事業の
目的

海洋高校におけるマイスター・ハイスクール事業の成果を、近隣の専門高校（農業高校）に普及し、ICTの活用や六次産業化等、次世代を担う産業人材を育成する

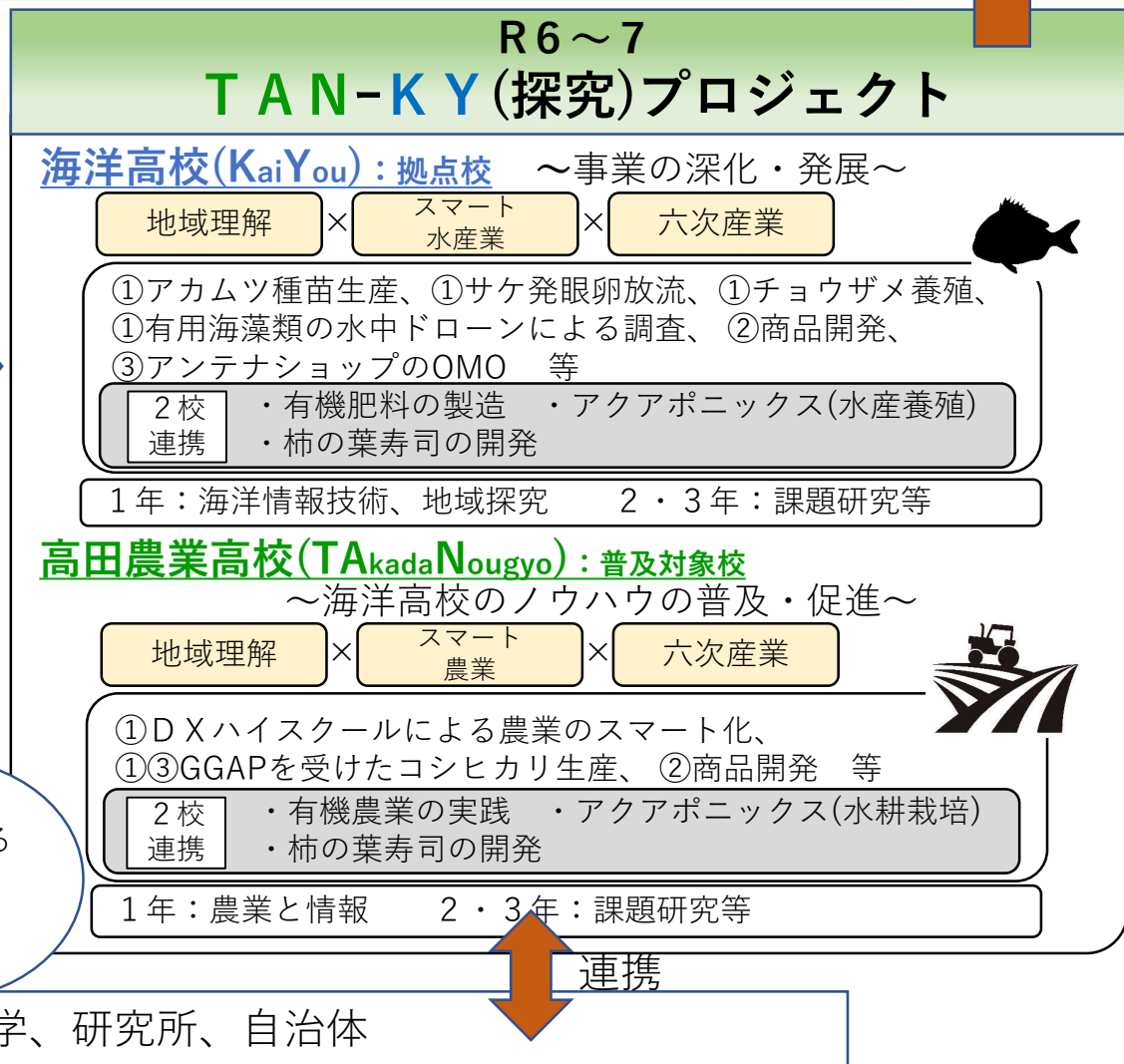
事業概要

課題解決



発展・普及

CEOによる
コーディネート



次世代の水産業・農業を担うプロフェッショナルの育成

令和3～5「マイスター・ハイ
スクール事業」の自走化と発展

- 学校設定科目「地域探究」の単元及び学習
内容、指導方法の確立



地元金融機関や地元企業
等の外部講師による授業



世界ジパーク学習（ジパーク
検定合格率R4・5平均の38%
→R6の78%に向上）



校内ビジネスコンテスト



地元企業インターンシップ

- 主にプロジェクト型学習における教育の質を
向上させるための継続的な教員研修会の実施



外部講師を呼んだ講義



教員同士の対話

普及対象校（県立高田農業高校）
との協働プロジェクト

- 地元水族館でのアクアボックス共同運用を目指して



本校生徒が高田農業高校に
小型アクアボックスを設置



高田農業高校生徒の本校
アクアボックス実習施設の見学

- 乳酸菌がマ株を使用した新潟オリジナル寿司の開発
（国際認証された生産工程で開発する新潟特産品）



寿司製造工程のHACCP化



GLOBAL G. A. P. による米づくり

- 令和7年度の高田農業高校の有機農業実習に向け
た未利用魚や魚のアラを原料にした有機肥料の製造



発酵機による有機肥料生産

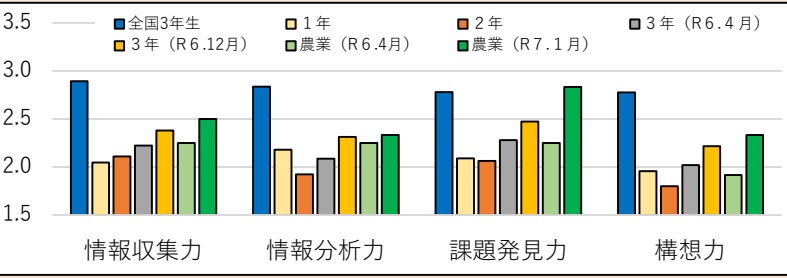


袋詰めして高田農業高校へ

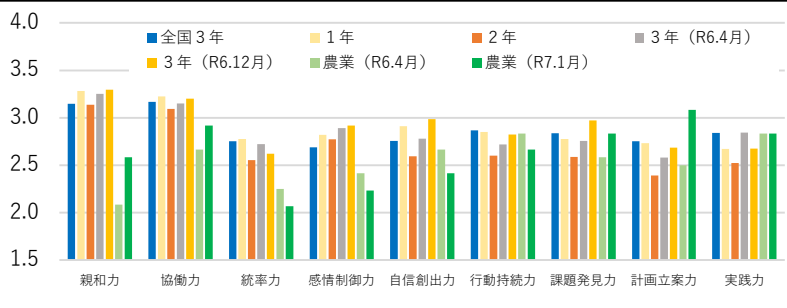
事業効果検証

生徒の基礎的・汎用的能力を客観的に評価するテスト
「学びみらいPASS」による事業評価

考える力（情報収集力・情報分析力・課題発見力・構想力）を
示すリテラシーと行動する力（対人基礎力：親和力・協働力・統率力、
対自己基礎力：感情抑制力・自信創出力・行動持続力、対課題基
礎力：課題発見力・計画立案力・実践力）を示すコンピテンシーを測定
するため令和4年度から全校生徒を対象に実施している。今年度
は、高田農業高校の協働プロジェクトに取り組んでいる生物資源科・
農業生産コース2・3年生も調査対象とした。



令和6年度3年生のリテラシーの変化（5点満点）



令和6年度3年生のコンピテンシーの変化（5点満点）

リテラシーは教科学力との相関の高い力で、総じて教科学力が高くない
両校生徒の特徴を反映する結果となった。しかし、高田農業高
校の課題発見力が他の力から突出して高く、農業生産で必要とさ
れる高い観察力との関係が示唆された。

コンピテンシーは、本校3年生の対人基礎力と対自己基礎力が高田農
業高校より高位にあり、かつ昨年度3年生の12月相当のコンピテン
シーが既に4月に確認できることから、マイスター・ハイスクール事業におけるカリ
キュラム刷新の効果が現れてきていると考えられる。

成果と課題

- 【成果】 令和4年度教育課程変更によって、1・2年生からグループワークやプレゼンテーション、プロジェクト型学習を
多く取り入れられる科目配置にしたことで、コンピテンシーの早期の成長と卒業時の高水準到達を達成で
きることが確認できた。また、プロジェクト型学習の展開にあたり、その教育的効果を高める機会提供
や生徒への支援の在り方等を検討する教員研修会が継続され、質の高い教育の継続実施ができる学
校文化が醸成された。
- 【課題】 高田農業高校との協働プロジェクトにおいて、マイスター・ハイスクールの普及を図るための教員・生徒の技
術的・人的交流が不足している。次年度は、両校の交流を密にしてプロジェクトを進め、経験・知識
の共有をととした普及を図っていく。